

えんがわ

第20号

2008年11月発行

発行元
衣笠病院グループ
横須賀市小矢部
2-23-1
Tel.046-852-1182

11月11日は「介護の日」?

厚生労働省は「介護について理解と認識を深め、介護従事者・介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者・家族・介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日」として十一月十一日を「介護の日」と決めました。

介護報酬が変わるのではなく、介護で働く人達からは否定的な意見も出ています。「また口先だけで…」

ただ、今回提示されてい



るのは『地域社会の交流促進を図る観点』という言葉です。介護を地域で支えていく「仕組み作り・意識啓発」という意味合いも大きいと思います。すべての人が、地域住民として、社会の一員として、高齢者を支えていく一人だという意識を持つていく事。そしてそれにより、さらに素敵な地域になっていく事：だと認識しようと思えます。何かイベントでもやりたいなあ…。

長瀬ケアセンター所長
三縄 久代

えんがわ在宅モエ ひとくちわ シヨート

ステイ

訪問先でシヨートステイのご案内…契約をする時、いつの間にか私は悪徳業者の訪問販売のおばさんの様に思われていないかと、ふと思う事がある。「代わりに印鑑も押してちょうだい」とご年配のご家族に頼まれたりすると、なんだか…。年をとって、自分の家があるのに、なんでわざわざ知らないところ泊まりにいかなければならぬの?という質問に対し、リハビリです。気分転換です。家族のためです。新しい発見です!年をとっても冒険です!と。段々、テレビ通販のようになってきました。よしんば私めの説明に、お年寄りが理解を示してく



ださっても、納得には至らない。でも、くそー!こんな所に連れてきやがってと、つぶやいた方が、「まあ、しようがない。衣笠ホームへ行ってやってもいいぞ!」と思ってくれた時があった。理屈じゃなかった。ご家族や、おばあちゃんやが衣笠ホームに泊まれてよかった!と心から思ってた。あわてない。あわてない。気持ちの余裕、笑いとユーモア。
お年寄りバンザイ!みんなバンザイ!
堂々としをとる会
世話人・衣笠ホーム
阿部 弘美